

技術シーズ分野; 臨床・基礎医学

技術シーズ; 自動細胞解析装置(BD FACSCanto™ II)

— 蛍光標識された浮遊細胞を解析・分取する装置 —



国立大学法人滋賀医科大学

実験実習支援センター

産学連携 <http://www.crl.shiga-med.ac.jp/home/sangakurenkei/sangakurenkei.html>

「蛍光染色された目的の細胞を高速で解析できる」

■ 技術シーズの概要

蛍光標識された単離細胞にレーザーを照射し、そこから得られた散乱光と蛍光を検出し解析します。

測定可能な大きさは0.5 μ m～40 μ m程度まで可能です。

血球細胞・動物細胞・植物細胞・酵母・プランクトンなど単離状態であれば解析できます。

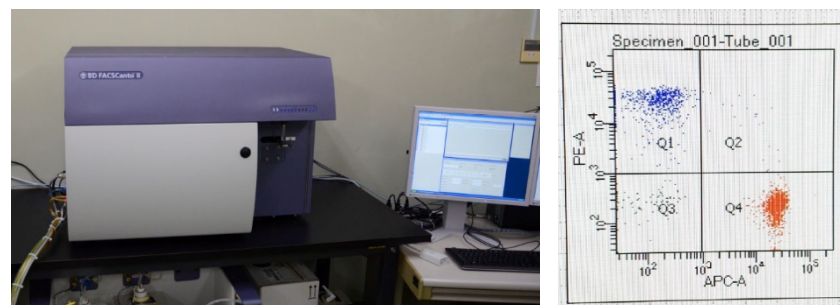
■ 計測・評価例

- ・ 蛍光標識された細胞を1秒間に数百から数千個処理し、解析することが可能

■ 担当者からの一言

- ・ 操作も簡便であり自動細胞解析装置を初めてご利用される方にお勧めの機器です。

< 現有機器の一例 >



装置型式: 日本ベクトン・ディッキンソン BD FACSCanto™ II

装置の仕様

ブルーレーザー(488nm)	検出器4個
レッドレーザー(640nm)	検出器2個
バイオレッドレーザー(405nm)	検出器2個

お問い合わせ先

滋賀医科大学 研究推進課 産学連携担当

077-548-2847 E-mail:hqsangaku@belle.shiga-med.ac.jp